

平成30年8月31日(金)
国民健康保険運営協議会資料①

平成29年度 主要施策の成果報告

あわら市国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

市民課

1. 概 要

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤として重要な役割を果たしている。あわら市における平成29年度の国民健康保険の平均被保険者数は6,042人で、その財政状況は、歳入総額 3,635,380千円、歳出総額は 3,456,116千円となっている。歳入の主な内訳は、国保税 632,542千円、国庫支出金 644,131千円、県支出金 148,119千円、療養給付費等交付金 92,940千円、前期高齢者交付金 1,076,951千円、一般会計繰入金 187,070千円となっている。一方、歳出の主な内訳は、療養給付費 1,863,928千円、療養費 15,325千円、高額療養費 278,164千円等の保険給付費 2,169,542千円で、これら給付費等が歳出総額の約63%を占めている。

2. 決算状況

第1表 決算収支

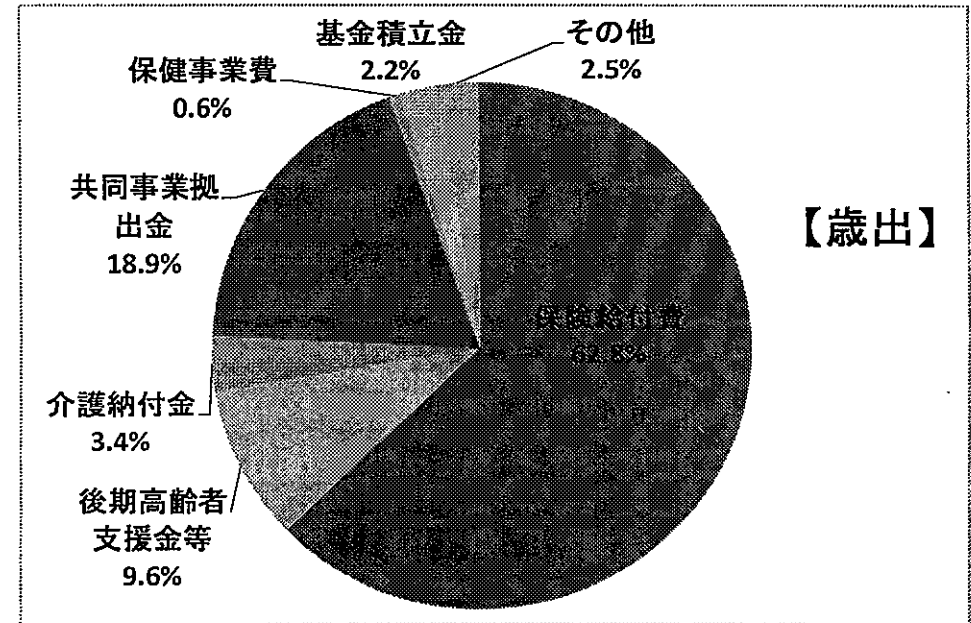
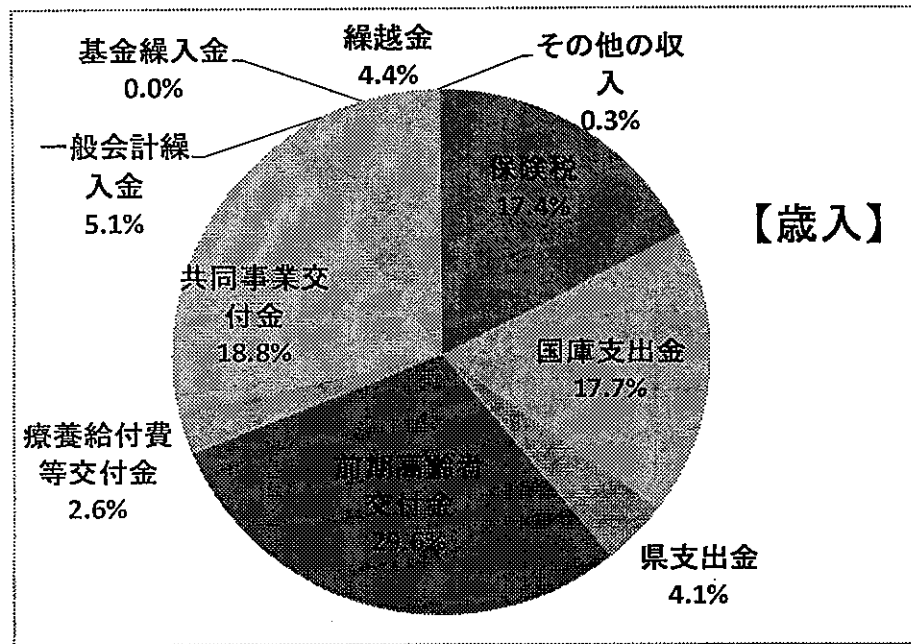
歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 (A-B) C	翌年度へ繰越すべき財源 D	実質収支 (C-D) E	単年度収支 F	積立金 G	繰上償還金 H	積立金 取り崩し額 I	実質単年度収支 (F+G+H-I) J
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
3,635,380	3,456,116	179,264	0	179,264	19,094	76,934	0	0	96,028

第2表 国民健康保険基金

区 分	平成28年度末 現 在 高	平成29年度 積 立 額	平成29年度 処 分 額	平成29年度末 現 在 高
	千円	千円	千円	千円
現 金	231,453	76,934	0	308,387

【成果】平成29年度の実質収支は 179,264千円であったが、歳入に160,170千円の前年度繰越金が含まれているため、単年度収支は19,094千円となっている。
なお、基金において76,934千円を積み立てているため、実質単年度収支は96,028千円となっている。

第3表 決算状況（科目別）



歳入 (千円)

科目	H29決算額	H28決算額	前年度比較
現年度分	599,872	609,296	△ 9,424
滞納繰越分	32,670	40,353	△ 7,683
保険税	632,542	649,649	△ 17,107
国庫支出金	644,131	730,778	△ 86,647
県支出金	148,119	159,147	△ 11,028
前期高齢者交付金	1,076,951	955,390	121,561
療養給付費等交付金	92,940	121,200	△ 28,260
共同事業交付金	683,066	782,573	△ 99,507
一般会計繰入金	187,070	215,532	△ 28,462
基金繰入金	0	0	0
繰越金	160,170	2,461	157,709
その他の収入	10,391	20,851	△ 10,460
歳入合計	3,635,380	3,637,581	△ 2,201

歳出 (千円)

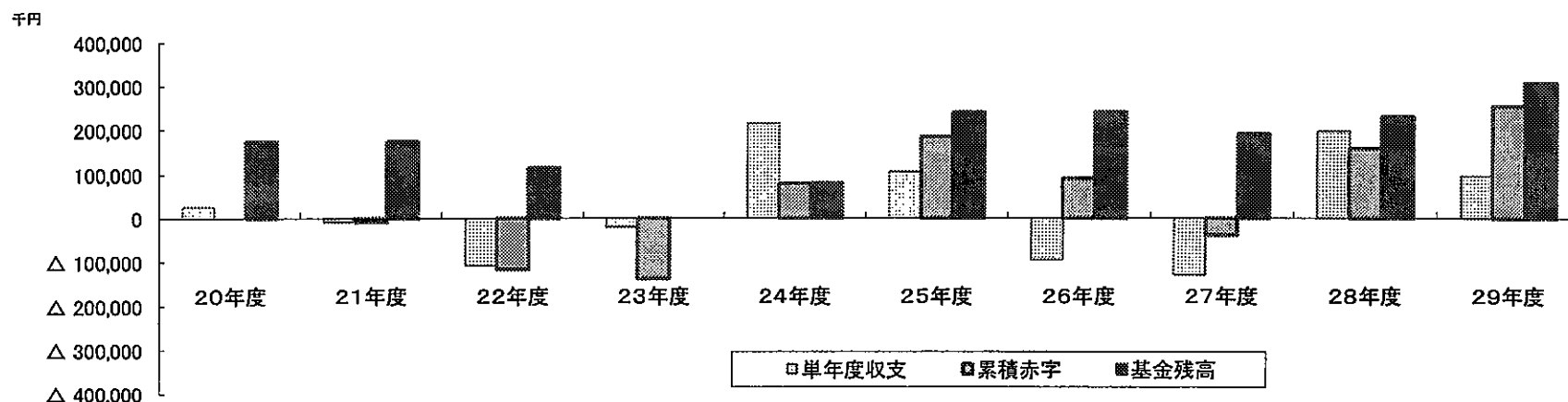
科目	H29決算額	H28決算額	前年度比較
保険給付費	2,169,542	2,203,348	△ 33,806
後期高齢者支援金等	330,564	344,854	△ 14,290
介護納付金	118,184	127,744	△ 9,560
共同事業拠出金	651,733	695,902	△ 44,169
保健事業費	21,818	21,277	541
基金積立金	76,934	40,165	36,769
その他	87,341	44,121	43,220
歳出合計	3,456,116	3,477,411	△ 21,295

歳入歳出差引額（繰越金） [実質収支] 179,264

第4表 実質単年度収支と累積赤字、国民健康保険基金の状況

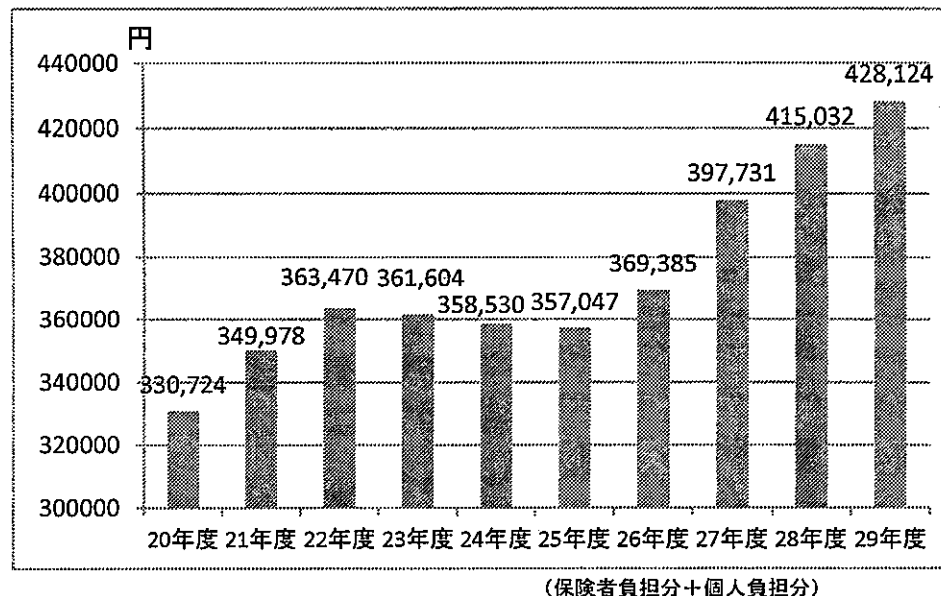
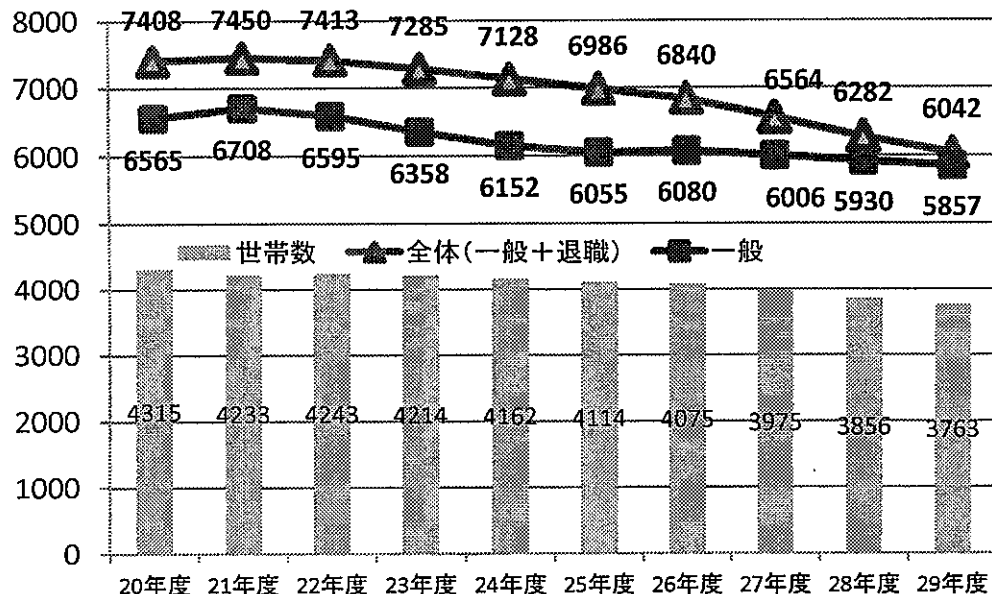
	★税率改定					★税率改定					円
	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	
歳入総額 (⑤含む) (ア)	2,904,221,581	3,082,555,495	3,070,354,063	3,181,942,917	3,438,264,670	3,377,887,546	3,172,380,222	3,475,362,997	3,637,581,278	3,635,379,785	
歳出総額 (④含む) (イ)	2,845,373,541	3,032,878,413	3,068,314,408	3,085,122,409	3,206,614,864	3,200,447,117	3,090,110,031	3,472,901,990	3,477,411,777	3,456,115,988	
当該年度の実質収支 (繰越金) (ア)-(イ) ①	58,848,040	49,677,082	2,039,655	96,820,508	231,649,806	177,440,429	82,270,191	2,461,007	160,169,501	179,263,797	
前年度の実質収支 (繰越金) ②	32,723,158	58,848,040	49,677,082	2,039,655	96,820,508	231,649,806	177,440,429	82,270,191	2,461,007	160,169,501	
単年度収支 (①-②) ③	26,124,882	△ 9,170,958	△ 47,637,427	94,780,853	134,829,298	△ 54,209,377	△ 95,170,238	△ 79,809,184	157,708,494	19,094,296	
基金積立額 ④	1,012,000	877,000	148,000	196,000	80,000,000	160,184,000	548,000	556,000	40,165,000	76,934,000	
基金繰入金 ⑤	0	0	60,000,000	115,585,000	0	0	0	50,000,000	0	0	
実質単年度収支 (③+④-⑤) ⑥	27,136,882	△ 8,293,958	△ 107,489,427	△ 20,608,147	214,829,298	105,974,623	△ 94,622,238	△ 129,253,184	197,873,494	96,028,296	
累積赤字 赤字となった時点から累積する ⑦		△ 8,293,958	△ 115,783,385	△ 136,391,532	78,437,766	184,412,389	89,790,151	△ 39,463,033	158,410,461	254,438,757	
基金残高 ⑧	174,364,000	175,241,000	115,389,000	0	80,000,000	240,184,000	240,732,000	191,288,000	231,453,000	308,387,000	

★H20.4月後期高齢者医療保険制度の導入



3. 医療費等の状況

(1) 被保険者数、世帯数及び1人当たり医療費の推移



(2) 保険給付費等の状況

区分	平成28年度		平成29年度		対前年度比較	
	件数(件)	保険者負担額(円)	件数(件)	保険者負担額(円)	件数(件)	保険者負担額(円)
療養給付費	87,429	1,885,117,068	84,155	1,863,369,202	△ 3,274	△ 21,747,866
療養費	2,594	15,447,950	2,426	15,228,330	△ 168	△ 219,620
高額療養費	2,875	281,967,784	2,976	278,038,454	101	△ 3,929,330
出産育児一時金	12	5,024,000	12	5,024,000	0	0
葬祭費	34	1,700,000	40	2,000,000	6	300,000
計		2,189,256,802		2,163,659,986		△ 25,596,816

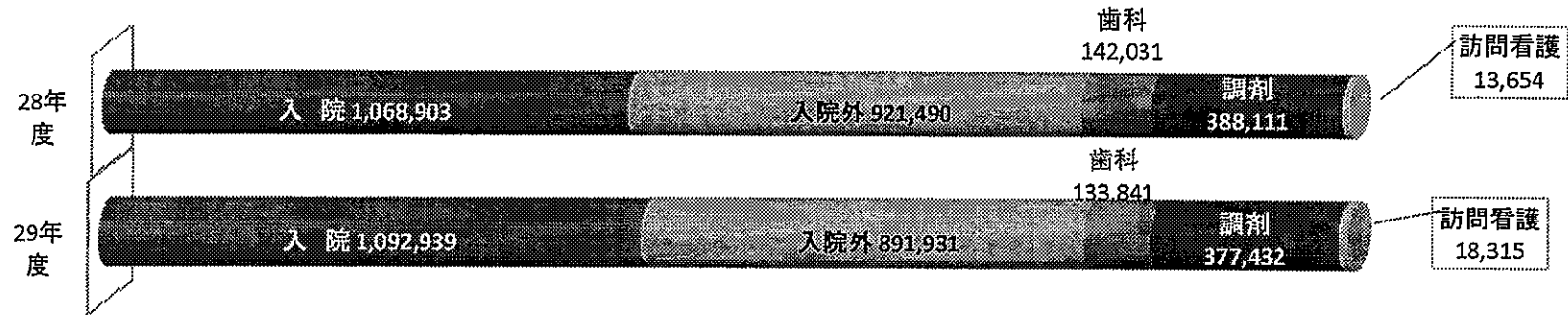
後期高齢者支援金	344,854,522	330,563,985	△ 14,290,537
介護納付金	127,744,132	118,184,178	△ 9,559,954

(※支出済額から、被保険者返納金、第三者納付金を除いた額)

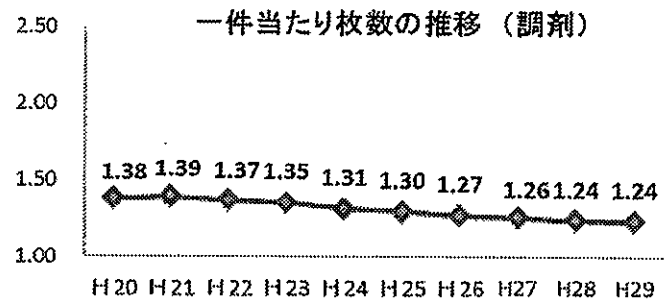
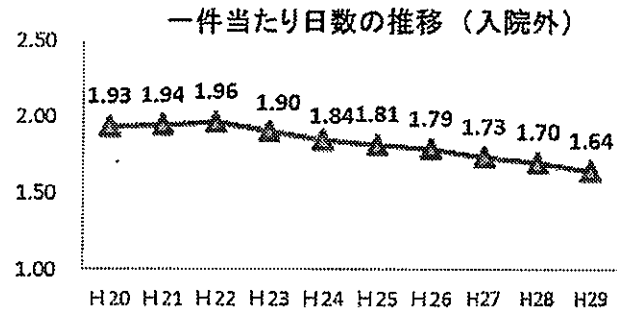
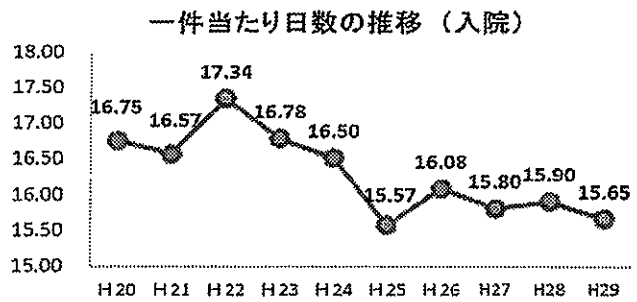
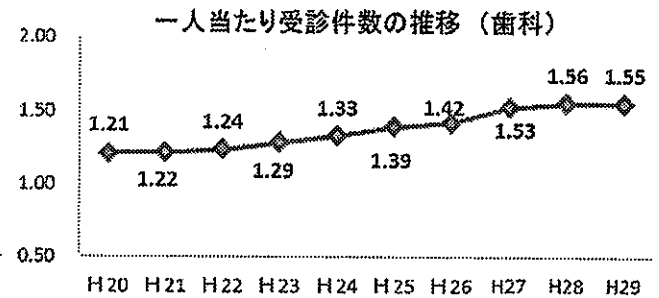
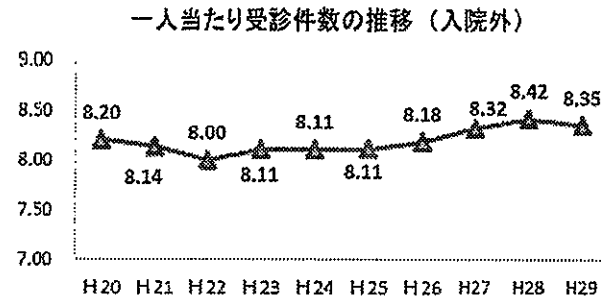
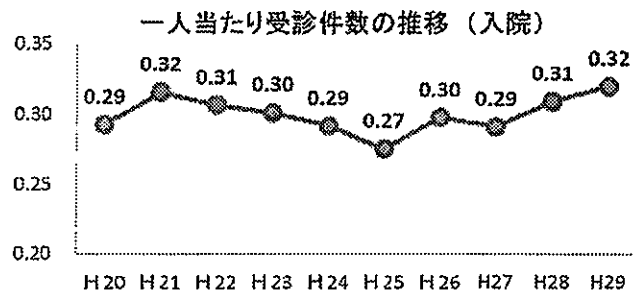
国民健康保険税賦課状況

医療給付分	所得割	6.20%	応能割
	資産割	29.00%	
	均等割	30,000円	応益割
	平等割	22,800円	
後期高齢者支援金分	所得割	1.70%	応能割
	資産割	4.00%	
	均等割	7,200円	応益割
	平等割	5,400円	
介護保険分	所得割	2.00%	応能割
	資産割	2.00%	
	均等割	8,400円	応益割
	平等割	6,000円	

(3) 療養の給付等内訳 (千円)



(4) 診療費の状況



※ 被保険者数は年々減少しているが、1人当たりの医療費は年々上昇しており、平成29年度においても上昇した。医療の高度化や被保険者の高齢化が主な原因と推測される。

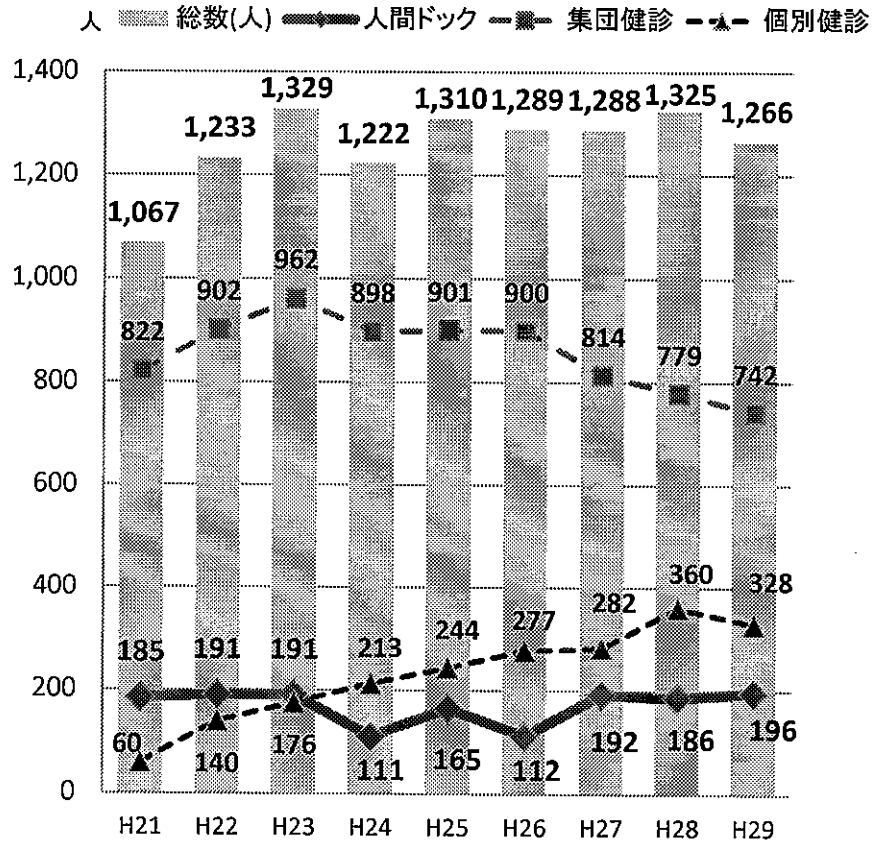
4. 保健事業の状況

事業名	事業費(千円)	内 容						
1. 人間ドック助成事業	4,940	・ 2日ドック 14人 ・ 2日併用ドック 4人 ・ 1日ドック 154人 ・ 脳ドック 15人 ・ 併用ドック 12人 ・ ペット併用 0人 (計199人 10医療機関)						
2. 特定健康診査等事業	10,999	特定健康診査委託料 集団健診(742人)・個別健診(328人) 8,509,860円 …… 健診情報提供(156人) 390,000円 データ管理委託等 2,032,857円 健康づくり活動支援(国保連補助事業) 65,843円 (在宅保健師による特定保健指導) <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>基本健診</td> <td>6,878,378円</td> </tr> <tr> <td>詳細健診</td> <td>58,592円</td> </tr> <tr> <td>追加健診</td> <td>1,572,890円</td> </tr> </table>	基本健診	6,878,378円	詳細健診	58,592円	追加健診	1,572,890円
基本健診	6,878,378円							
詳細健診	58,592円							
追加健診	1,572,890円							
3. 保健衛生普及事業	1,725	医療費通知書 6回 後発医薬品利用差額通知書 2回 医療費抑制リーフレットの個別配付(証更新時)						
4. 国保保健指導事業 (国庫補助事業)	3,990	ア) 特定健診未受診者対策 【1】 9月 1回目受診勧奨通知(対象3,541人) 過去の受診履歴・健診結果・問診票、医療機関受診状況等の分析し、健康意識・心理特性に応じた勧奨通知を送付。 【2】 11月 2回目受診勧奨及び医療機関受診者向けの通知発送(対象3,417人) 特定健診に相当する診療情報(検査結果)を、医療機関から市へ情報提供を受ける。 【3】 1月 3回目受診勧奨通知(対象961人) 今年度「最終のお知らせ」として、健診未受診者に勧奨通知を送付。 【4】 集団健診予約特典として健康チェック測定を実施。 イ) 健康教育 ・生活習慣病予防(①糖尿病予防 ②脂質異常改善)教室 参加者数 ①実28人 ②実22人 内容: ①②いずれも講習・栄養・運動の3回シリーズ 対象: ①血糖値要指導者等 ②脂質要指導者等 ・講演会「健康チェックセミナー」(参加者数 実41人) 対象: 特定健診受診者 内容: 健診結果を活かした生活習慣の改善						

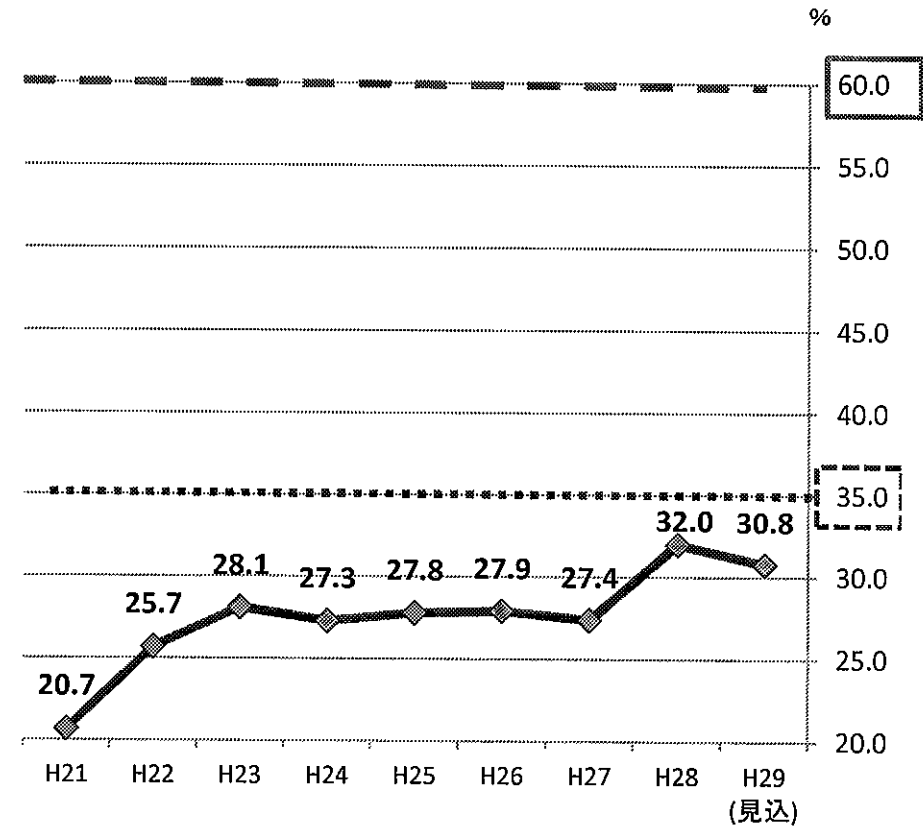
【成果】生活習慣病予防対策として、特定健診の結果要指導者に対し糖尿病予防教室ならびに29年度から新規で脂質異常改善教室を実施した。生活習慣病予防教室修了者のアンケートの結果(回収率88%)、「今後も自主的な健康づくりをつづけていきますか」という質問に対し、回答者全員が「はい」と継続の意思を示した。また、家族や友人に良い影響があったかどうかについては、「良い効果があった」7.9%、「少しあった」50.0%とあわせて57.9%の人に波及効果が認められた。

(参考) 特定健康診査等実施状況

○ 受診方法別受診者数の推移



○ 受診率 (法定報告)



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
あわらし市	20.7	25.7	28.1	27.3	27.8	27.9	27.4	32.0	30.8
県平均	25.2	27.3	28.4	30.0	30.4	31.2	32.4	32.4	